

六郷の名を高める伝統 日本一のハンコの里

六郷の印章は、百年の歴史をもち、
販売・卸・製造・彫刻・ケース・ゴム印・
表札等との分野においても
卓越した技術者があり、
地域全体が印章団地として機能する、
まさに日本一のハンコの里です。
長い経験と確かな技術で、
六郷の印章は高い評価を得ています。



印章供養祭

日本一のはんこの里である六郷地区で開催される地場産業まつり。10月1日には印章供養祭も行われます。



六郷の里秋まつり

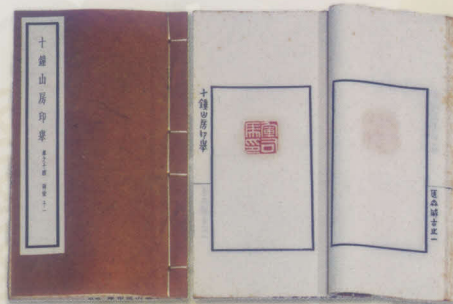


篆刻体験



印章資料館(地場産業会館)

本町ならではの資料館。館内には、様々な印材をはじめ、十鐘山房の印譜、印章の歴史、貴重な資料等が展示されています。



十鐘山房の印拳
十鐘山房は、中国のコレクター陳介祺が収集した、30拳191冊という最大無比の古銅印譜が展示されています。

創意と技術を伝統にした六郷

六郷における印章は明治のはじめ、甲州の水晶と、水晶加工技術の振興とともに起こりました。

地域の産業として水晶印章に着目、全国を行商して印章の重要性、重宝さ、生活の必需品であることを説き、販路を開拓していきました。

一方、印章技術の習得にも、長い年月を要します。六郷には幾多の修行を経て、卓越した技を達成した多くの技術者がいて、六郷の産業を支えています。

六郷の印章は日本一の技術と歴史を誇る伝統工芸品です。

手彫印章の作業工程

字入れ

彫刻文字の配置・配分をし、印面に直接、左文字を書く。



荒彫り

印面を起底刀(きていとう)で彫り進めます。



仕上げ

判差しという仕上げ刀で字の形を整えます。



世界一大きいハンコ
二m平方、高さ三m、重量三
トン、風林火山の一説より引
用された不動如山

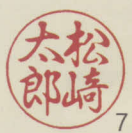
字体のいろいろ

古印体

行書

八方篆

印篆



実印

銀行印

認印

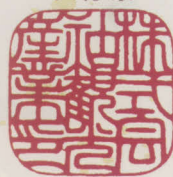


八方篆

印篆

小篆

会社印



17

15

13



18

16

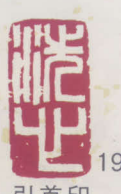
14



21



20



19

雅号印

姓名印

引首印

落款印



25



24



23



22

遊印



自然が育んだ逸品
オノオレカンバ

むらおこし事業の一環として開発された新しい印材、オノオレカンバ。独特の風合いと手触り、朱肉の乗りの良さが好評で、風土性をさらなる価値に高めるものです。



木・竹類
柘・黒檀・白檀・竹根等・
オノオレカンバ



牙・角・石類
黒水牛・オランダ水牛・象牙
水晶・メノウ・虎目石・ロー石など



ケース
ワニ・トカゲ・牛皮



ゴム印
手彫・鑄造・写植ゴム印



表札
桧・桜・大理石・オノオレカンバ・
樺(けやき)・一位(いちい)